

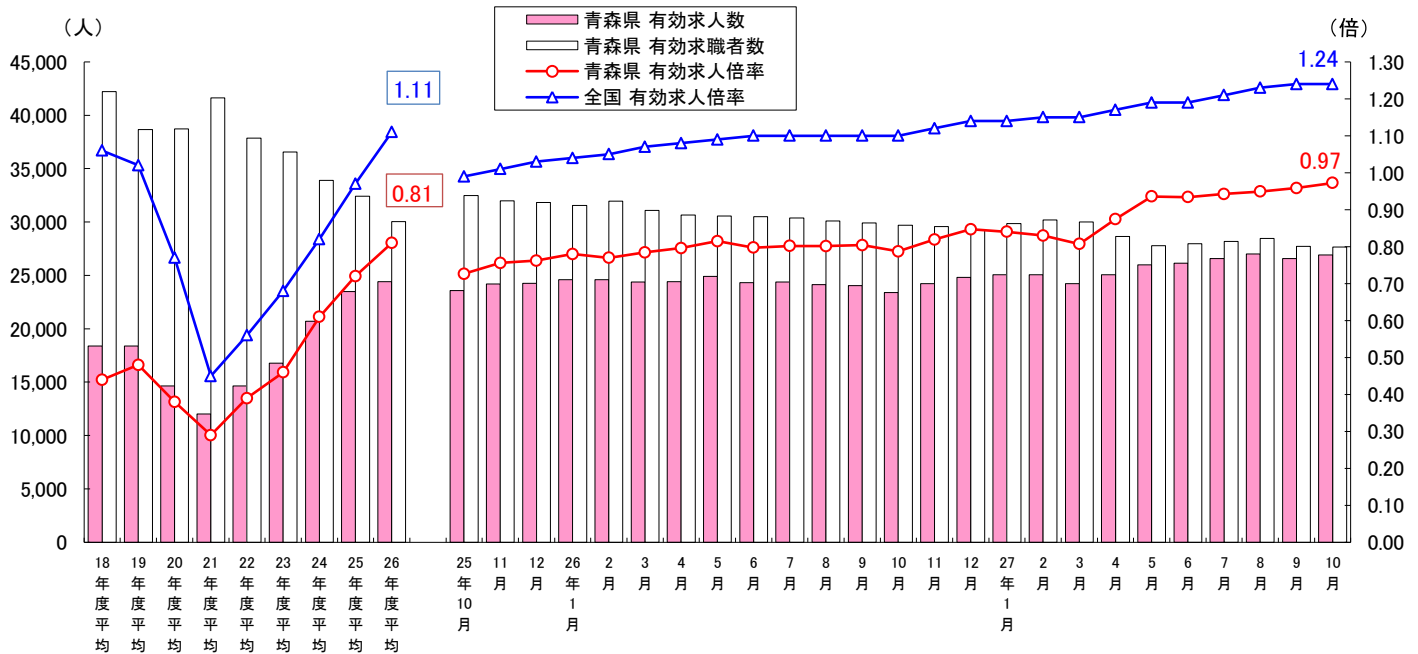
最近の雇用情勢について

(平成27年10月)

青森労働局

I 求人・求職・求人倍率の推移(季節調整値)・・・年度平均は原数値

10月の一般職業紹介状況を見ると、有効求人数(季節調整値)は前月に比べ1.3%増加の26,902人、有効求職者数(同)は0.1%減少の27,667人で、有効求人倍率(同)は前月より0.01ポイント増加の0.97倍となった。

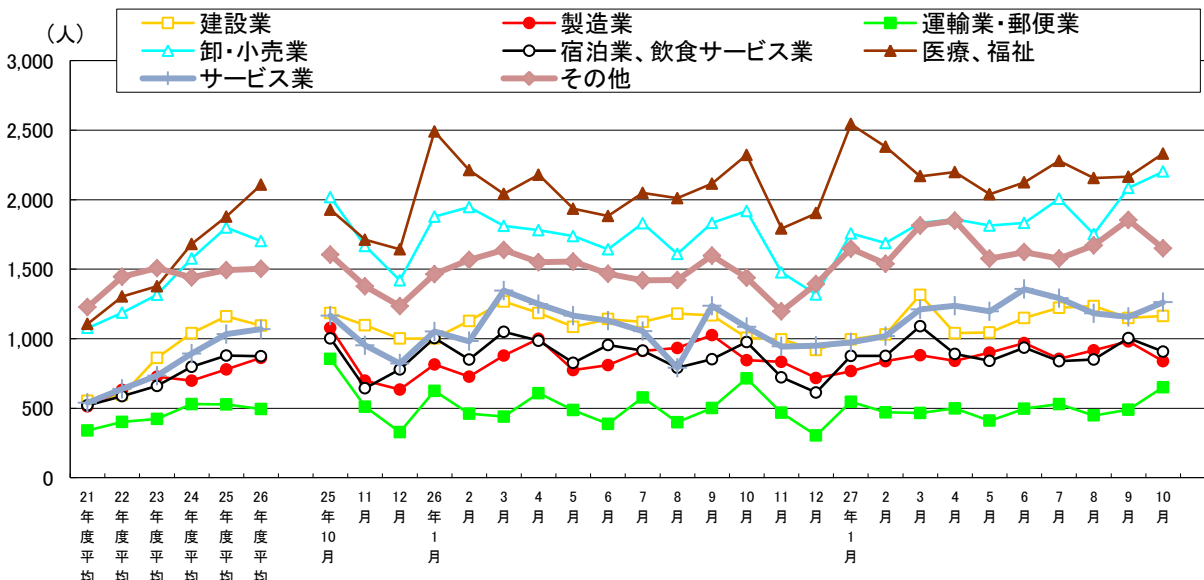


(注)季節調整法はセンサス局法Ⅱ(X-12ARIMA)による。なお、平成23年12月以前の数値は新季節指数により改訂されている。

II 新規求人の状況(学卒を除きパートタイムを含む)

10月の新規求人(原数値)は前年同月比6.8%(701人)増加、前月比1.1%(124人)増加の11,007人。

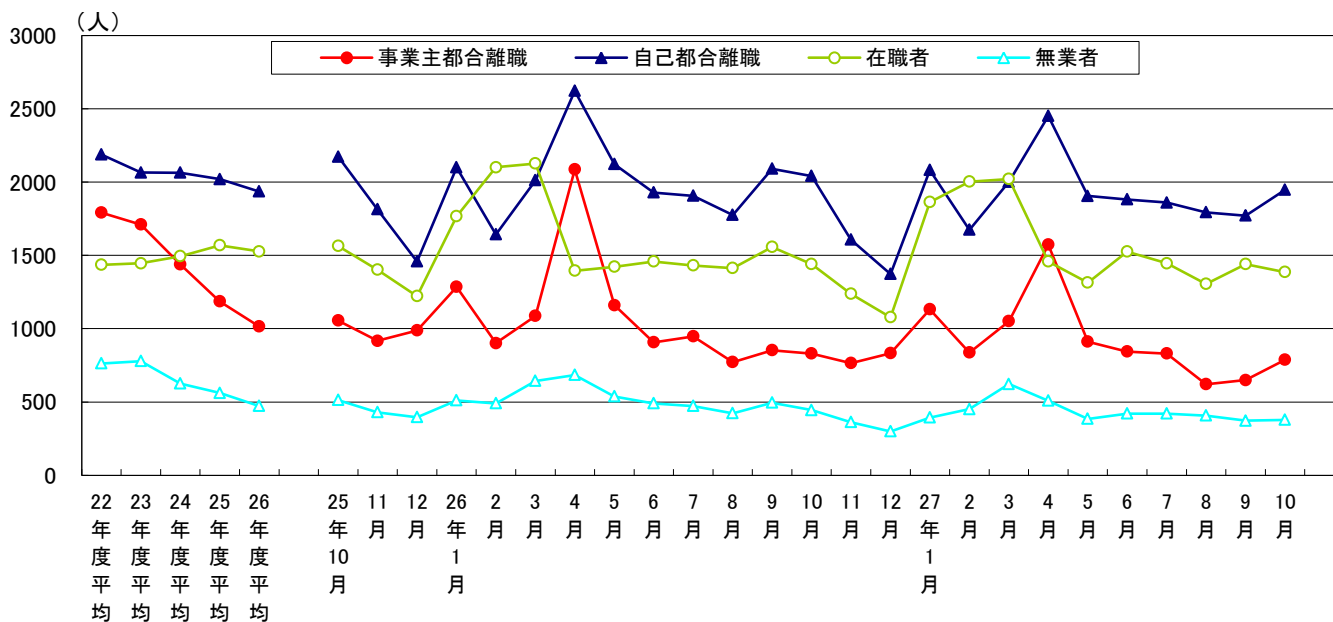
産業別に前年同月と比較すると、建設業、卸売業・小売業、医療、福祉、サービス業等で増加し、製造業、運輸業、郵便業、宿泊業、飲食サービス業では減少となった。製造業では、食料品、飲料・たばこ・飼料製造業、鉄鋼業、非鉄金属製造業、電子部品・デバイス・電子回路製造業等で増加し、繊維工業、電気機械器具製造業、情報通信機械器具製造業、輸送用機械器具製造業等では減少となった。



平成26年4月内容分より、平成25年10月改定の「新産業分類」での集計となっています。
『その他』には、「農・林・漁業」「鉱業」「電気・ガス・熱供給・水道業」「情報通信業」「金融・保険業」「不動産、物品賃貸業」「学術研究、専門・技術サービス業」「生活関連サービス業、娯楽業」「教育、学習支援業」「複合サービス事業」「公務、その他」を含みます。

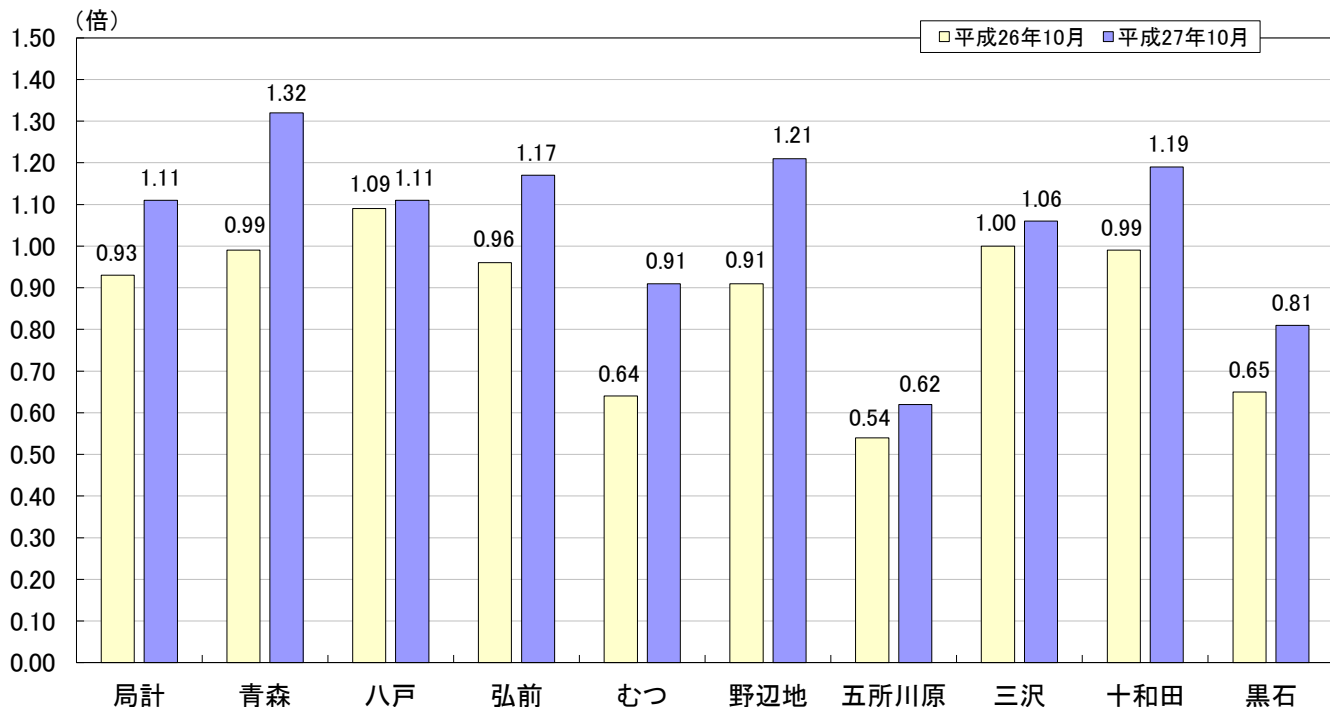
Ⅲ 新規求職の状況(パートを除く常用)

10月の新規求職者数は、前年同月比5.6% (272人)減少、前月比6.7% (289人)増加の4,604人。
 求職者を態様別に前年同月と比較すると、在職者は3.7% (53人)減少し、離職者は5.1% (153人)の減少、無業者は、14.9% (66人)の減少となった。
 離職理由でみると、事業主都合は5.2% (43人)の減少、自己都合は4.7% (95人)の減少となった。



Ⅳ 安定所別求人倍率の状況(学卒を除きパートタイムを含む全数・・・原数値)

10月の局計の有効求人倍率(原数値)は1.11倍となり、前年同月を0.18ポイント上回った。
 各安定所別の有効求人倍率は次のとおり。

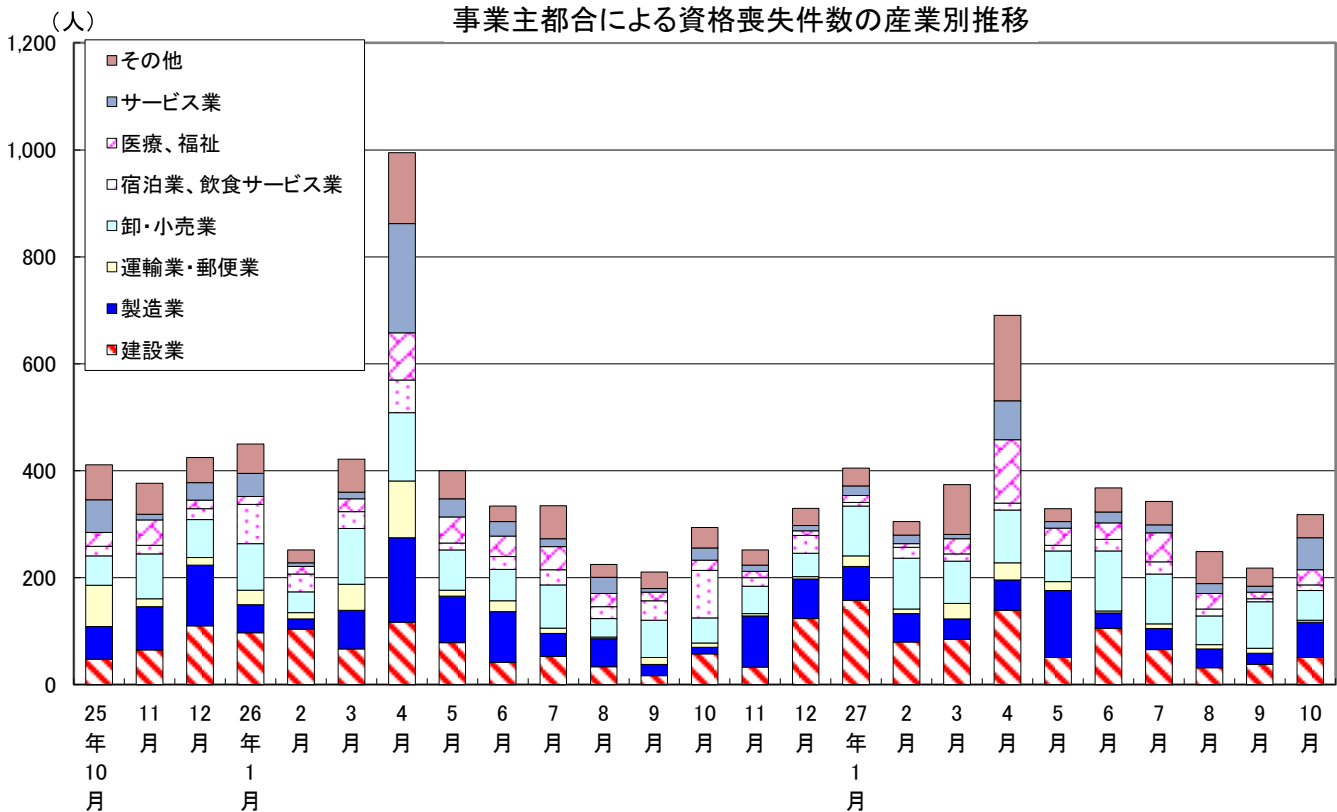
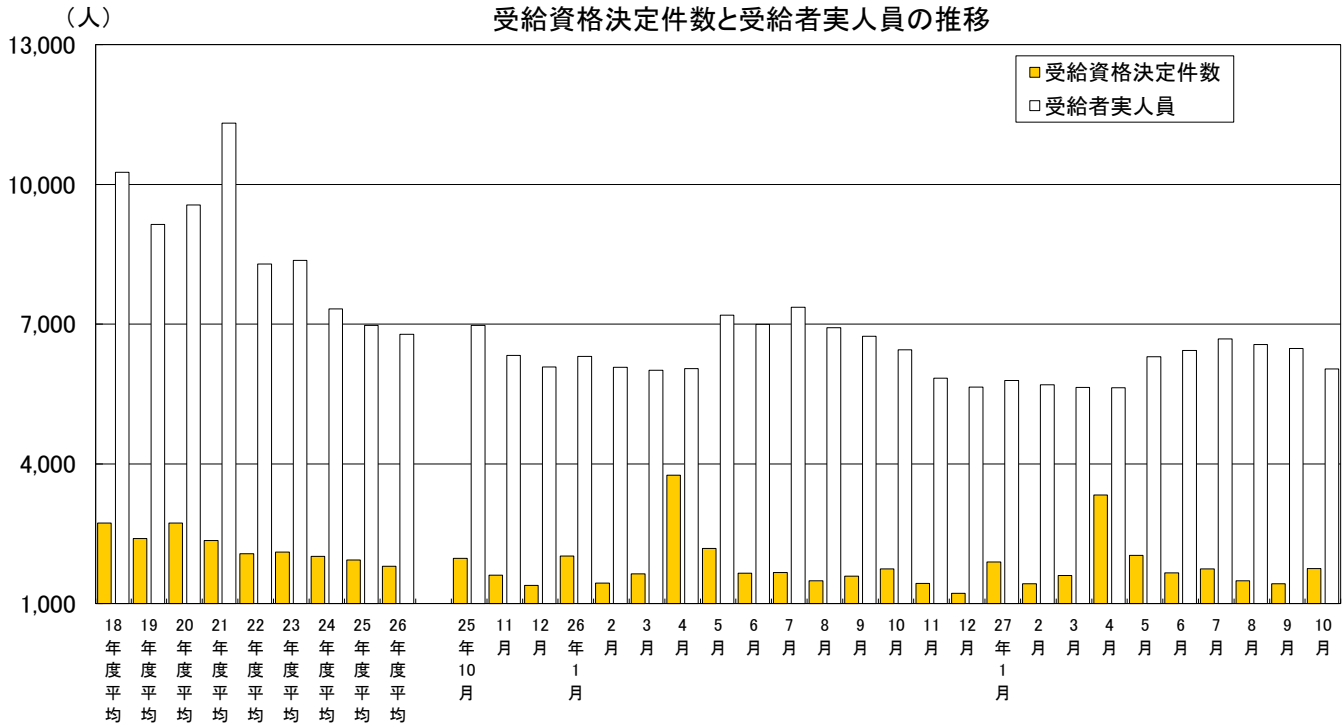


	局計	青森	八戸	弘前	むつ	野辺地	五所川原	三沢	十和田	黒石
有効求職者数	25,241	6,444	6,033	4,550	1,212	780	2,295	1,470	1,133	1,324
有効求人数	28,005	8,533	6,725	5,309	1,105	941	1,421	1,558	1,346	1,067

V 雇用保険の状況

10月の受給者実人員（基本手当基本分）は、前年同月比6.3%（408人）減少、前月比では6.8%（439人）減少の6,041人となった。また、受給資格決定件数は、前年同月比0.4%（7件）増加、前月比では22.6%（323件）増加の1,752件となった。

資格喪失者（高年齢、短期特例被保険者を除く）のうち事業主都合による者は、前年同月比8.2%（24人）増加、前月比45.9%（100人）増加の318人となっている。



平成26年4月内容分より、平成25年10月改定の「新産業分類」での集計となっています。
 『その他』には、「農・林・漁業」「鉱業」「電気・ガス・熱供給・水道業」「情報通信業」「金融・保険業」「不動産、物品賃貸業」「学術研究、専門・技術サービス業」「生活関連サービス業、娯楽業」「教育、学習支援業」「複合サービス事業」「公務、その他」を含みます。